

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2021年 11月 16日作成

■研究課題名	HFNC導入前後でのCOVID-19重症患者の転帰の検討および予後因子の検索
■研究の対象	2020年2月から2021年8月にCOVID-19でEICUに入室した症例 全66例
■研究目的・方法	<p>【目的】重症COVID-19患者に対するHigh flow nasal cannula(HFNC)の装着は予後を増悪させず、挿管頻度を減らせると報告されている一方で、長期間のHFNC装着は自発呼吸誘発性肺傷害を来し予後を増悪させる可能性が指摘されている。当院では積極的にHFNCを装着し、また病床の逼迫で挿管時期が遅くなった時期もあり、転帰への影響が懸念された。当院でのHFNC装着が転帰に与える影響について分析した。また重症患者の転帰を予測する指標は確立されていないため、予後因子についても検討した。</p> <p>【方法】2021年2月よりHFNCによる治療を開始したため、その前後で死亡率、入院期間、挿管頻度、挿管期間、ECMO導入頻度を比較した。また重症患者の予後因子検索のために転帰良好群と転帰不良群で背景因子を比較した。</p>
■研究期間	倫理委員会承認日から 2022年 3月 20日
■研究に用いる 試料・情報の種類	カルテの診療録
■試料・情報の 取得と保管方法	研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化する。藤沢市民病院のインターネットに接続されていない独立したコンピューター端末で管理する。藤沢市民病院外での個人のPCなどで個人情報を含まないデータを含むファイルを扱う際には、セキュリティ対策を施したPCを使用する。
■外部への 試料・情報の提供	なし
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 救急科 (研究責任者) 池田 優 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545</p>	